

5 - 2 地元の有志で対策する 〔エサやりをしていない場合〕

流れ（大田区の場合）

① 保健所に相談する（複数の地元住民と一緒に）



② 保健所の方も借りて、町会にご挨拶



③ 地域に徹底的に周知（戸別訪問は必須）



④ 同時進行でノラ猫の頭数や居場所などをリサーチ



⑤ 全頭の去勢不妊手術



⑥ エサやり者による適正エサやりによって
継続的に現場チェック



⑦ 適宜、追加の去勢不妊手術（捨て猫等への対応）

まずは仲間で相談、そして意思統一

具体的に動く前に、段取りをよく相談しておく



「まずは保健所に相談に行くのがいいみたい」

「ってというか、そもそも何頭いるのかな？」

「頭数は、エサやりさんに聞かないと分からないよね」

「怒っている人もきっといるよ。聞き込みしないと」

「町会への挨拶も必要だよね」

チェックリスト（大田区版）

- 保健所に相談→→→町会への挨拶
- 捕獲のノウハウを教えてくれる先輩ボラさんはいないか
- どの病院を使うか（保健所や先輩ボラさんに相談）
- 病院への搬送はどうか（自動車）
- 捕獲器を借りる（保健所）
- 地域周知チラシの作成（被害者が安心するような内容で）
- 猫情報のリサーチ〔コアなエリアは戸別訪問〕
 - 1 エサやり者を見つける
 - 2 被害者を見つける
- 対象猫の一覧表を作成（他の工程と同時進行で）

① 保健所に相談



ポイント

複数の地域住民で相談に行くこと

できるだけ、状況を紙にまとめておくこと

「猫が可哀想」という視点ではなく

「地域みんなが困っている」という視点で
地域の状況を説明すること

保健所にとって、ノラ猫対策は「猫を助ける愛護活動」ではなく
「地域のノラ猫トラブルを減らしていく」ための公共的地域活動

② 町会にご挨拶



対策を進めることについて保健所と話がついたら
保健所にコーディネートしてもらい町会にご挨拶

「猫が可哀想」という視点ではなく

「地域みんなが困っている」という視点で
地域の状況を説明すること

町会挨拶のポイント

① 町会にあれこれとやってもらおうとは考えないこと

町会はとにかく忙しい。その上、役員の高齢化も著しい。余裕のない町会も多いことを理解しておく。

お手伝いいただかなくても大丈夫です。

「ノラ猫対策としてこんなことをやっている」ということを知っておいていただきたくて、ご挨拶に来ました。

※ NGワード = 「人と猫が共生する社会をつくりましょう」

町会は、皆で助け合って暮らしやすい地域づくりをするための団体。
「人と猫の共生」をめざしてはいない。

② チラシの回覧と掲示板貼付のご協力だけをお願いします

③ とにかく「この人たち、まともだな」と思ってもらおう

「よく分かんない猫愛護家 came ぞ」と思われないうように！

最重要なのは地域広報（周知徹底）

地域住民に活動趣旨を知らせないと、必ず失敗する

③ 近隣用のチラシを作成

作成のポイント

「被害対策開始！」の告知にする

猫被害者が安心する内容にする

愛猫家へのマナー啓発も盛り込む



チラシのサンプル

NGワード

猫にも命があります

小さな命を守りましょう

猫愛護の文言は、被害に苦しんでいる方の気持ちを逆なで。

人と猫の共生するまちにしましょう

被害者は、人と猫の共生するまちを望んではない。

- ※ 保健所のパンフレットも用意
（保健所の方針に従っていることが分かるように）

④ チラシを持って、コアなエリア内で戸別訪問

戸別訪問は、地域猫活動の肝。活動の成否を分ける。

まずは、猫で困っていると思われる家を、順に訪問する

周知チラシを持参して

ペットボトルが並んでいる家（被害者）を片っ端から訪問

※ あれば行政のチラシも一緒に持っていく



2人組がベスト

トークのテクニックは不要
とにかく誠意誠実、一所懸命
真面目さこそが最大の武器！

ノラ猫が増えていて、ちょっとマズイので、
私たち、去勢不妊手術をして、
もう増えないようにしようと思っています。

フン被害、ありますでしょうか？

あと、エサやりしている人に
マナーを守るようお願いしたいのですが、
誰がエサやりしているか、ご存知ではないですか？

活動趣旨の周知&情報収集！

被害者から「いまどき奇特な、ありがたい人だ」

と思ってもらえたら、活動は6割方成功（被害者を味方につける）

つぎに、エサを与えていると思われる家を、順に訪問

★ 被害者から教えてもらったエサやりさんの家（結構、教えてくれる）

★ エサ皿や水皿が置いてある家



※ 周知チラシを持参。あれば、行政のチラシも一緒に持っていく。

2人組が
ベスト



活動者が猫好きならば
猫の話で盛り上がるとよい

エサやり、ありがとうございます！（※注）

猫ちゃんが増えてしまっているので、
私たち、去勢不妊手術をしようと思っています。
猫ちゃんの情報、教えていただけますでしょうか。

活動趣旨の周知&情報収集！

※注「えさやり、ありがとうございます！」と言う

「エサやり、していますか？」と質問するのはNG

→ → → 質問すると「エサやりは、していません」という答えが返ってくる

たいていの方は、エサやりがバレると怒られると思っているので、
質問形式だと本当のことを言ってくれない

エサやり者と仲良くなれたら その時点で9割成功

最後に、被害者かどうか分からない家をひとつと訪問

★ ペットボトルやトゲトゲは置いていない

★ エサ皿や水皿もない

= 立場が分からない → → → 被害者かもしれないと思って会話する

※ 周知チラシを持参。あれば、行政のチラシも一緒に持っていく。

2人組がベスト



トークのテクニックは不要
とにかく誠意誠実、一所懸命
真面目さこそが最大の武器！

猫でお困りではないですか？

私たち、これ以上ノラ猫が増えないように
手術しようと思っています。

何か猫の情報があったら教えてください。

活動趣旨の周知&情報収集！

コアなエリアの戸別訪問が活動の成否を分ける

戸別訪問をせず、すべてポスティングだけで済ませてしまうと

- 重要情報が入りにくい（チラシだけだと電話をくれる人が少ない）
- 地域に味方が増えず、活動が孤立化する

地域住民と顔の見える関係になり、人柄を信頼してもらうことがコツ

5 - 3 地元の有志で対策する

〔 エサやりをしているが
まだ揉めてはいない場合 〕

「5 - 2 エサやりをしていない場合」と
ほぼ同じ流れですが
微妙に違うところがあります

違うところ① 町会へのご挨拶の言葉

エサやりしてることは隠さず最初に言う。後からバレると信用ガタ落ち！

私たち、エサやりしているのですが、このままではマズいと思い、全頭の去勢不妊手術をすることにしました。

お手伝いいただかなくても大丈夫です。

ノラ猫対策として「こんなことをやっている」ということを、
知っておいていただきたくて、ご挨拶に来ました。

違うところ② 近隣配布用チラシの文言

マナーを守ってエサやりしてることをチラシに盛り込む。

エサやりしていることを隠して、後からバレると
信用ガタ落ち！



チラシのサンプル

違うところ③ 戸別訪問の際の言葉

次ページ以降を参照

猫で困っていると思われる家への訪問では・・・



2人組がベスト

トークのテクニックは不要
とにかく誠意誠実、謙虚に！

すみません・・・

私たち、猫にエサを与えているんですが、
このままではちょっとマズイので、
全頭の去勢不妊手術をしようと思っています。

フン被害、ありますでしょうか？

あと、何か猫の情報があったら教えていただけると
助かります

エサやりしてることは隠さず最初に言うこと。後からバレると信用ガタ落ち。

困っている方はノラ猫のことをよく観察している。
対策のためであることを丁寧に話し、猫情報や自分たち以外のエサやり者情報を
収集する。

厳しい言葉を言われても、とにかく腰を低く、根本的な被害対策であることを説明。

被害者から「このエサやり者は、意外とマトモな人かも」
と思ってもらえたら、活動は6割方成功（被害者を味方につける）

エサを与えていると思われる家への訪問では・・・



こんにちは、私たちもエサやりしているんです。

ちょっと頭数が増えてしまっているので、
私たち、去勢不妊手術をしようと思っています。
猫ちゃんの情報、教えていただけますでしょうか。

自分たちもエサやりしていることは、最初に言う。
まずは仲良くなり、情報交換する。

エサやりのマナーなど、色々言いたいことがあっても、まずは我慢
相手のプライドを傷つけない、やっていることを否定しない

エサやり者と仲良くなれたら その時点で9割方成功

猫の被害者か、エサやり者か分からない家への訪問では・・・

被害者かもしれないと思って、
前ページ「猫で困っている家への訪問では・・・」と同じように話す
「このエサやり者は、マトモな人かも」と思ってもらえるように

「エサやり者」のイメージを変えましょう！



- 人より猫を大事にしている、近所迷惑を顧みない
- まともにコミュニケーションが取れない
- 「エサやりしていない」とバレバレのウソをつく
- 常識が通用しない変わった人



- 明るく挨拶、近隣コミュニケーションができる
- 猫好きでない人の気持ちに配慮できる
- エサやりしていることは隠していないが、近隣にも気遣いしている（マナーを守る）
- 地域住民との約束は必ず守る

重要!

どの場合でも

ご近所回りでは行政の信用力が威力を発揮

まちの猫問題 どうすればいいの?

のら猫が増えている…
置きえさやばらまきは不衛生だ!
被害に困っている!
猫がかわいそう…!

「地域力」で解決する方法があります!

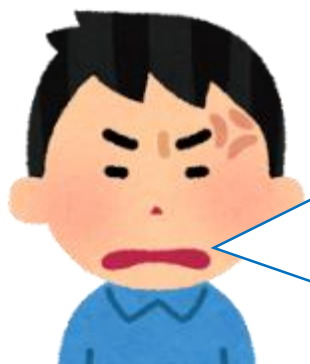
地域の皆さまで協力して、これ以上のら猫を増やさないようにして、被害を少なくする取り組みです。

具体的には…?

- ・去勢・不妊手術をします
猫は年2~3回出産し、手術をしないとすぐに増えてしまいます。手術済みの猫は耳先をV字型にカットするなどして、子猫をつくらない猫であるという目印にします。
- ・地域の皆さまで話し合い、一定のルールをつくって猫を管理していきます
えさの管理(決められた時間と場所、置きえさの禁止)、猫用トイレの設置・管理(ふん尿の始末)、周辺の清掃を行ないましょう。また、活動のための資金集め、広報等の役割を皆さまのできる範囲で分担して進めましょう。

地域で力を合わせて取り組むことで…

- 1 去勢・不妊手術の実施**
猫の繁殖を防ぎ、のら猫が増えなくなるだけでなく、マーキングの臭いや繁殖期の鳴き声が少なくなります!
- 2 えさやりのルールの確立、猫用トイレの設置・管理**
えさやりのトラブルやふん尿の被害が少なくなります!
- 3 地域の皆さまの協力や目配り**
捨て猫や動物虐待を防ぎ、地域のコミュニケーションが豊かになります!
えさやりを禁止したり、猫を排除しようとするだけでは、問題は解決しません。猫の増える根本的な原因に目を向けて取り組むことが大切です。



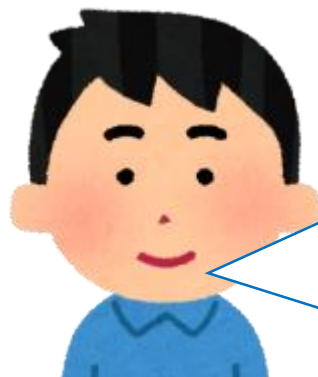
猫のための
活動なら、
ウチは協力
できないよ



あのお…
そうではなくて
地域のため
なのです…



行政の方針に
従って、
ノラ猫対策を
しようと思って
います

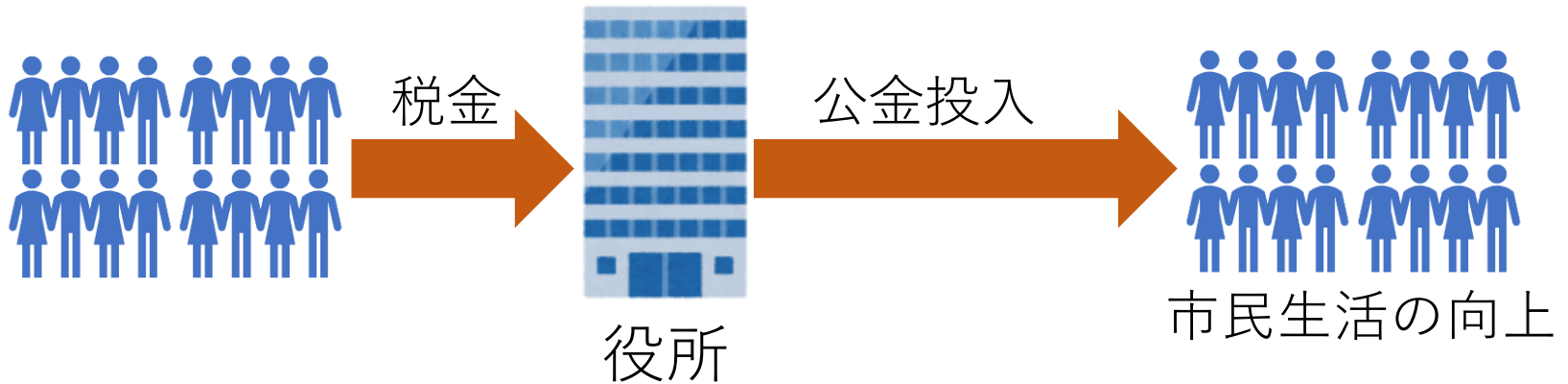


へえ…、
行政の方針ですか
よく分かんない
けれど、
ご苦労さま

行政の名前 = 信用力

活動が公共的なもの (単なる動物愛護ではない)
であることが分かる

行政が関わる意味



よりよい市民生活のために

行政は公金を投入してノラ猫対策をする

猫好き、猫被害者、どちらにも住みよいまち

||

ノラ猫トラブルのない住みよいまち = 市民生活の向上

これが、行政が地域猫活動に関わる意味（公共性）

猫を幸せにするために公金を投入しているのではない

（地域猫活動によって、**結果的に**猫も人間と共生できるようになる）